

(別紙5)

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 26-2-029
補助事業名 平成26年度 障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る 補助事業
補助事業者名 一般財団法人機械振興協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

障害のある人の高付加価値就労として3Dプリントサービスビジネスの実現を支援し「障害のある人が幸せに暮らせる社会創造」を行うことを目的としています。

(2) 実施内容

障害のある人が付加価値の高い職に就くための3Dプリンタ技術の普及

(http://www.jspmi.or.jp/system/l_cont.php?ctid=130301&rid=1181)

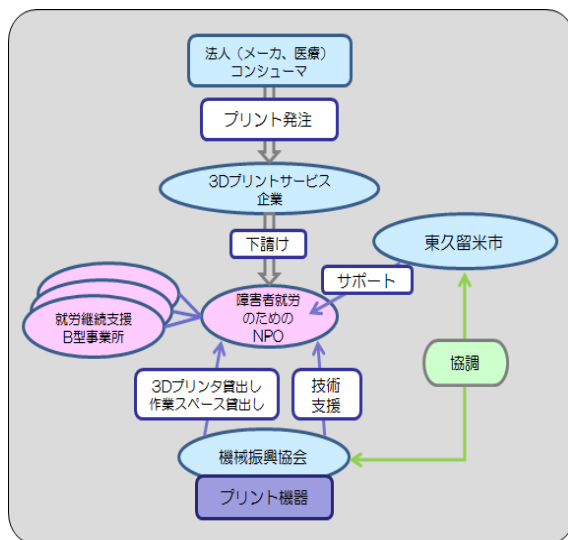
障害のある人が、勤労意欲を持っているにも関わらず一定レベルの職に就けないことは、その人達の強いジレンマであり、十分な社会参加ができていないというネガティブ意識を生んでしまいます。例えば職に就いたとしても、清掃、単純事務など限定的で、福祉作業所で働いている人のほとんどが低工賃となっています。

本事業はJKA補助事業として、障害のある人が付加価値の高い職に就く間口が広がり、より社会参加が可能な職に就けることを目的としています。これにより、工賃の向上と社会の役に立っているというモチベーションの向上が図られ、「障害のある人が幸せに暮らせる社会創造」の実現に繋がることが期待されます。

付加価値の高い就労として3Dプリントサービスに着目し、障害のある人への適用を検討してきました。平成26年度は、特に就労支援事業所の指導者や行政向けに3Dプリンタ実習セミナーを実施してコミュニティを形成する等により、障害のある人による3Dプリントサービスのビジネスモデル創りを行って参りました。

2 予想される事業実施効果

障害のある人による3Dプリントサービスのビジネスモデルを立案して、「マーケットの視点」、「人とのマッチングの視点」、「3Dプリンタの設備・技術の視点」から実現性を検証し、平成26年度の成果として概ね良好な結果が得られました。平成27年度は、障害のある人の参加を得て商用3Dプリンタを使った障害のある人による3Dプリントサービスの試行実験を行って参ります。



障害者による 3D プリント
サービスのビジネスモデル案



「マーケットの視点の検証」
障害者福祉事業所の調査見学



「人とのマッチングの視点の検証」
就労指導員向け 3D プリンタ実習セミナー



「3D プリンタの設備・技術の視点の検証」
商用 3D プリンタの作業体験会



事業成果発表会 (テクノフォーラム)
2月6日 於 成美教育文化会館

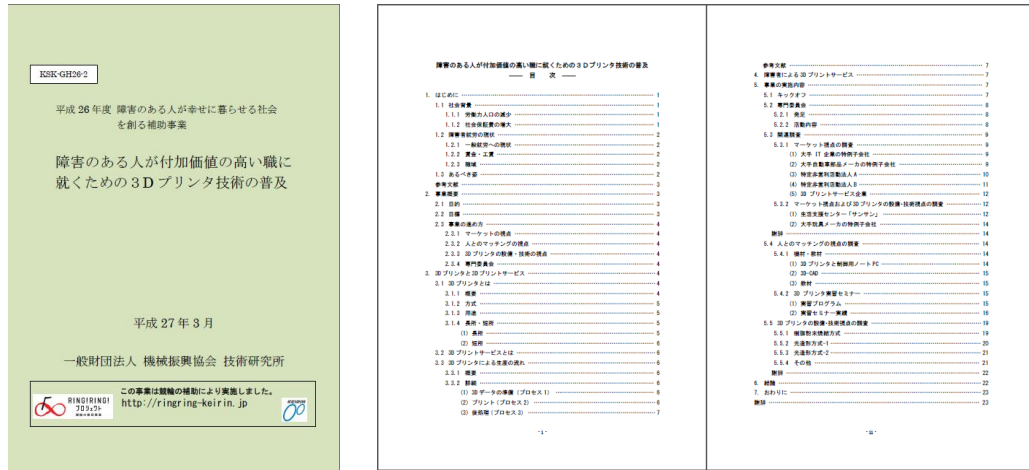
(別紙5)

3 本事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

障害のある人が付加価値の高い職に就くための3Dプリンタ技術の普及

(http://www.jspmi.or.jp/system/file/2/81/ksk_gh26_2.pdf)



(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般財団法人機械振興協会 (キカイシンコウキョウカイ)

住所： 〒105-0011

東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館

代表者： 会長 庄山悦彦 (ショウヤマ エツヒコ)

担当部署： 技術研究所 技術開発センター ものづくり人材育成事業チーム (ギジュツケンキュウジョ ギジュツカイハツセンター モノヅクリジンザイイクセイジギョウチーム)

担当者名： 保戸塚 久善 (ホトヅカ ヒサヨシ)

電話番号： 042-475-1155

F A X : 042-474-1980

E-mail : hotozuka@tri.jspmi.or.jp

URL : <http://www.jspmi.or.jp/>